

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹生産センター 信方浩志郎

貯蔵管理

温度5〜8℃、湿度85%が目安です。2週間に一回程度は腐敗果の除去や貯蔵箱の差し替えを行います。貯蔵庫内の果実が減少してくると湿度が低下しやすいので、水を入れたバケツなどで湿度を調整しましょう。

樹勢回復

次年度へ向けた樹勢の回復を目的に、尿素500倍等の窒素系液肥の葉面散布や暖かい日のかん水を行います。また、寒害による冬季の落葉は、樹勢を低下させ翌年度の着花量を減少させます。寒害の心配される園地では、寒冷紗やコモなどで樹を被覆して落葉防止に努めましょう。

土づくり

根の細根量を増やし、施肥の吸収効率の改善を目指して土壌改良を行います。堆肥を投入することで土壌がやわらかくなり、通気性・保水性が向上して新根が発生しやすい環境となります。また、ミカン栽培に適した土壌pHは5.5〜6.3です。土壌が酸性化している、根の発根や肥料の吸収が抑えられていますので、苦土セルカや苦土石灰等の土壌改良材を施用しましょう。

- ・苦土セルカ2号 160kg/10a
- ・キノックス 2000kg/10a

間伐

2月になると表年が予想される樹や園から剪定に取り掛かります。剪定に入る前に、密植になっていないか、古い樹で生産性が低くなっていないかなど園地を一度確認しましょう。密植園や老木園は病害虫の発生や隔年結果の助長など高品質果実の安定生産は難しいため、間伐や改植を検討しましょう。

3月に入れば苗木の植え付け時期にもなります。スムーズな植え付けが行えるように植え穴などの準備も行ってください。